

2017年1月29日

報道関係者各位

全日本大会のご報告

模擬国連会議全日本大会事務局では、昨年12月26日より29日にかけて第28回模擬国連会議全日本大会を開催しましたので、簡潔にご報告致します。本大会には高校生から社会人まで320名程の参加者が日本及び世界から集い、日本語会議5つと英語会議2つを行いました。本大会では現代社会における「問い」に向き合うことを目指し、移民問題、核軍縮、マスメディア、宗教問題、非承認国家、宇宙の利用、EU危機を扱いました。

また、本大会では企画も多数催しました。大会前日には観光企画として海外参加者を中心に浅草を観光しました。また、大会初日の午前中には、外務省国際協力局気候変動課の方をお招きしてご講演頂きました他、英語会議参加者向けにプロシージャ講習会を開催しました。開会式では外務省総合外交政策局国連企画調整課の臼井様をお招きし、「国連外交の現場」という表題の下、国連の仕組みや国連での実際の交渉についてお話頂きました。

更に、大会3日目には特別企画と題して、多角的に国際問題や模擬国連に向き合っていくために合計6つの企画を行い、参加者の興味関心に合わせてご参加頂きました。例えば、「国際機関で働くには」をテーマとした講演（国際機関人事センター協力）、政策立案コンペ（模擬国連会議全米大会日本代表団派遣事業協力）、会議監督セミナー、国際援助のあり方に問題提起をする映画（『ポバティール・インク』）の鑑賞企画など、多様な企画をご用意しました。

会議企画では、各会議で工夫を凝らして企画を行いました。外部の方をお呼びした会議もあり、宇宙行動規範の策定会議には外務省総合外交政策局宇宙室の方を、移住労働者の人権会議には APFS 連合の方をお招きしました。それぞれ議題に関してのご講演の他、参加者からの質問にお答え頂きました。

大会中には一般向けの大会ツアーも行いました。多くの教育関係者や学生の方がご参加下さり、模擬国連について知り会議の様子を感じて頂く機会となりました。

本大会の開催にあたってご支援ご協力頂きました皆様はこの場を借りてお礼申し上げます。来年度も本大会をよろしくお願ひ致します。



<本件に関するお問い合わせ>

日本模擬国連広報担当の中西までお願いいたします。

[mailto: pub@jmun.org](mailto:pub@jmun.org)